

1歳未満の乳児にはちみつを与えないでください

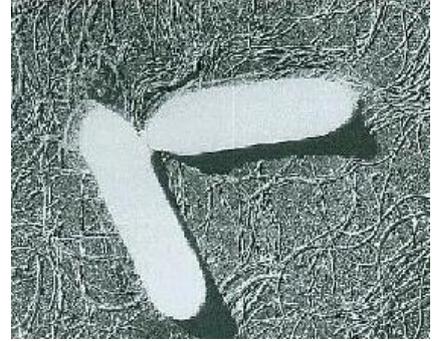
都内において、5カ月児のはちみつの摂取が原因と推定される乳児ボツリヌス症による死亡事例がありました。

【乳児ボツリヌス症とは】

乳児ボツリヌス症は、1歳未満の乳児にみられるボツリヌス症です。

原因食品と共に体内に摂取されたボツリヌス菌の芽胞（がほう：植物に例えると種子の様な耐久型の菌の状態）は、乳児の腸管内で毒素を産生し、ボツリヌス症をひき起こします。乳児の腸内細菌叢（ちょうないさいきんそう：腸内で一定のバランスを保ちながら共存している多種多様な腸内細菌の集まり）が成人と異なるために起こる疾病です。

乳児ボツリヌス症での死亡はまれです。



写真提供：東京都福祉保健局

【症状】

便秘、筋力の低下、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる等が認められます。

【原因食品】

乳児ボツリヌス症の主な原因食品は、はちみつです。原因不明の事例も多くあります。はちみつ以外に原因食品が確認された事例はほとんどありません。

【予防方法】

乳児ボツリヌス症の予防は、1歳未満の乳児には、ボツリヌス菌の芽胞に汚染される可能性のある食品（はちみつ等）を食べさせないことです。

【ボツリヌス菌】

ボツリヌス食中毒等のボツリヌス症の原因菌です。ボツリヌス菌は土壌や海、川などの泥砂中に分布しています。酸素の少ない環境を好む菌で、芽胞をつくります。ボツリヌス菌の芽胞は熱に強く、低酸素状態に置かれると発芽・増殖し、ボツリヌス毒素を産生します。

はちみつ自体はリスクの高い食品ではありません。

1歳未満の乳児にはちみつを与えてはいけませんが、

1歳以上の方がはちみつを摂取しても、本症の発生はありません。

問い合わせ先

中野区保健所食品衛生担当

〒164-0001 中野区中野 2-17-4

TEL:03-3382-6664 FAX:03-3382-6667

E-mail: seikatukankyo@city.tokyo-nakano.lg.jp